

COOPトリプルカード みやぎスマイル基金 助成活動報告書

団体名	東北大学たなぼた
連絡先	(団体電話) (団体FAX) (団体e-mail) tanabotatohoku6@gmail.com (団体ホームページ)
代表者名	種口 暁人 (役職) 代表

1. 助成事業報告

事業名	東日本大震災の被災地におけるコミュニティ復活の支援
目的	<p>復興住宅の居住者の多くは高齢者や単身の世帯が多く、主体的に公営住宅内やその近隣で新しいコミュニティを形成すること、又互いに支え合うような関係を構築することは難しい。さらに、震災前の地域のつながりや世代間のつながりが失われ、孤独を感じる人が多いなどの声も頻繁に耳にしている。そのため弊団体は、住民同士の顔見知りの関係をより広げ、今まで以上に気軽に声を掛け合い、健康状態を把握できるような環境をつくること、移転先で孤独に暮らす人々が生きがいを見つけ豊かな人生を送れるようにすることを目的として活動を行った。</p> <p>さらに、新型コロナウイルスの感染拡大のため住民同士が会する機会が減少し、地域のつながりが希薄になってしまうことが懸念されることから、学生が積極的に活動を行うことでコロナ禍でも人と関わる機会を作り、地域のコミュニティ形成に貢献することを目的とした。</p> <p>また、荒井東地区においては町内会の活動にみられる滞りを改善するため、町内会班長の仕事の役割分担のマニュアル化や、参加者が固定化されてきている町内会活動の活性化を目標とした。</p>
実施内容	<p>○若林区大和町での活動</p> <p>大和町市営住宅での活動では、季節の工作や折り紙、脳トレクイズ、体操などを行い、住民の方との交流を深めた。参加者からは季節を感じる工作や簡単な体操などが好評で、またクイズは頭の体操になって楽しいというお声も頂いた。活動を通じて、住民の方同士のつながりを深められただけでなく、住民さんと学生との交流の機会が得られ、世代間交流の場にもなり、コミュニティの輪の拡大に貢献できたと感じる。</p> <p>。</p>

・開催日、参加人数(たなぼた含む)、内容等

4月2日、14人、折り紙、脳トレクイズ

5月22日、16人、季節の工作

6月26日、16人、千羽鶴作り

7月10日、19人、千羽鶴作り

10月30日、25人、タオルかけ、芳香剤作り

2月12日、21人、七夕飾り作り、脳トレクイズ

3月26日、21人、七夕飾り作り、体操、脳トレクイズ

○蛇田地区での活動

石巻のぞみ野地区での活動では、東北大学ボランティアサークルのインクストーンズさんと合同で地域食堂の手伝いをした。

4月30日 約20人、地域食堂の手伝い

石巻あゆみ野地区での活動では、季節の工作と脳トレクイズを中心に行った。季節の工作では、夏にはカラフルな傘を画用紙で作ったり、春には花のしおりを折り紙で制作するなど、四季にまつわる工作や、ハロウィンやクリスマス、ひな祭りなどのイベントにまつわる工作を行い、学生が工作の作り方を住民さんに教えながら様々な話をすることで交流を深めた。

6月4日、21人、工作、脳トレクイズ

7月2日、20人、工作、脳トレクイズ

10月16日、20人、ハロウィン工作

12月11日、17人、クリスマス工作

2月26日、14人、ひな祭りに関する工作

3月25日、14人、春に関する工作

○荒井東地区での活動

荒井東地区での活動では、東北大学ボランティアサークルのSCRUMさんと合同で活動をしている。

荒井東地区での活動では、2021年度から活動させていただいていたが、2022年度から本格的に荒井東市営住宅の集会所にて工作などの企画を持ち込み活動をさせていただいている。工作も好評だが、モルックは比較的高齢者の方から子供まで老若男女楽しめるスポーツであるため非常に好評だった。秋祭り、避難訓練、敬老の日の記念の餅配り、クリスマス会は町内会や子ども会とともに打ち合わせを重ね活動を実施した。7月にも活動を行う予定であったが、新型コロナウイルスの影響で直前に中止となってしまい残念だった。しかし、そのほかの活動は町内会会長が私たちの活動に対して意欲的だったこともあり、実施させていただくことができた。活動を通じて住民さんと日常の様子を話したりして交流を深めた。集会所には学生の写真付きの自己紹介ポスターを貼らせても

	<p>らい、名前を覚えてもらった。</p> <p>6月25日、20人、うちわ作り、モルック 8月28日、24人、風鈴づくり、モルック 8月21日、14人、寺子屋(子どもたちに勉強を教える) 9月3日、16人、寺子屋(子どもたちに勉強を教える) 9月10日、14人、寺子屋(子どもたちに勉強を教える & 工作など) 9月26日、25人、寺子屋(子どもたちに勉強を教える & 工作など) 9月19日、学生7人と65歳以上の住民さんたち、敬老の日の記念の餅配りの手伝い 10月2日、学生7人と荒井東地域住民の皆さん、秋祭りの手伝い 10月9日、学生5人避難訓練参加者の住民さん、避難訓練への参加 10月29日、27人、落ち葉でしおり作り 12月18日、約60人、クリスマス会 1月15日、27人あらいのおへや(お正月遊び、足湯) 2月23日、19人あらいのおへや(お雛様工作) 3月19日、約30人、あらいのおへや(キャンドル作り)、年度末報告会</p>
<p>開始から終了までの流れ</p>	<p>各地域での活動では、まず会場となる集会所で机や椅子の設置などの会場準備を行い、住民さん方が集まり次第、検温や体調確認を行った。</p> <p>始めに住民さんに対して学生の自己紹介を行い、工作やクイズ、体操などの活動を行った。活動は約2時間ほどで、終了次第会場の片付けを行った。足腰が悪い方に対しては、自宅前まで迎えに行き、帰りは送るなどのサポートも行った。</p>
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>・ 成果</p> <p>コロナ禍で希薄になっていた地域住民の方々との交流を復活させるために、感染状況を見ながら定期的に活動を行うことができた。また、工作やクイズ、体操などを行うことで、コロナ禍で特に自宅にこもりがちな高齢者に対して、良い刺激を与えることができたと思われる。体操や脳トレクイズ、手先を動かす工作などを行ったことで、参加された住民の方々の体と心の健康の維持に貢献できたのではないかと思う。さらに荒井東地区では、町内会の話し合いにも出席し、意見を出した。クリスマス会では高齢者の方から子どもたち、保護者の方々と幅広い年代の方が参加した。3月にあった年度末の報告会ではクリスマス会が思い出に残っているとの声が多数あり、住民の方々のコミュニティ形成の一助になっていると感じた。</p> <p>そして、自主財源に限りがある中で、このようにたくさん</p>

	<p>の活動を行うことができたのは貴団体の助成金によるものが非常に大きいです。お礼申し上げます。</p> <p>・ 教訓</p> <p>それぞれの活動地区によって住民さんの手先の器用さやひらめき力の違いがあることから、工作やクイズの難易度などを変える必要があり、また、同じ地域であっても個人差があるため、学生が個人個人に合わせてサポートする必要がある。女性の参加者が多いこと、新規参加者が少ないことなどが改善点として挙げられ、活動内容の工夫や呼びかけの強化などが今後の課題として考えられる。荒井東地区では特に70代、80代の世代の方が多く、参加者が固定化されてしまったことで40代から60代までの中高年世代の方々が参加しづらいという意見をいただいた。町内会の方々と意見を出し合って改善していきたいと思う。また、活動内容も工作が多く、マンネリ化してしまっていると感じたため、目安箱を住宅に設置し、活動の提案、感想や最近の悩みを投函してもらって住民さんに寄り添った活動をしていきたいと考えている。</p>
<p>今後の展望など</p>	<p>それぞれの活動地域に毎月訪れて定期的に活動することが、コミュニティ形成において重要であると考えているが、特に大和町、あゆみ野、のぞみ野では新型コロナウイルスの感染拡大の影響で2022年度は活動が数回中止になるなど、思うように活動できない期間があった。そのため、今後はその空白期間を埋められるように、より交流が深まるような活動を行っていききたい。特に、コロナ禍以前に行っていた足湯や料理系などの活動を行うことで、より交流が深められると期待されるため、感染状況に合わせた活動内容の実施をしていきたい。</p> <p>一方で荒井東地区ではコロナ禍にもかかわらず町内会の会長さんが、私たちが活動を行うことを前向きに検討していただき、検温、消毒などの感染対策を行いながら様々な活動を行うことができた。そしてその活動の中で町内会における課題を解決する一助になれるようサークル内でミーティングを重ねた。当初は集会所に子供たちが集まり、それを周りの大人が見守る環境を作ることを最終目標として、8月、9月に寺子屋という子供たちに勉強を教える活動を行ったが、参加してくれた子どもの人数が多くて3人ほどと想像より参加人数が少なく、参加の呼びかけも子ども会を通して保護者の方に周知する必要があり子ども向けの活動を行うことに限界を感じた。さらには、高齢者の方向けの活動も行ってほしいという要望があった。そこで方針転換をし、高齢者の方々と子どもたち、学生の三者が世代を超えて交流し、コミュニティ形成ができるような場を作ることを目標に「あらいのおへや」という名前のもとで活動を行うようになった。特にクリスマス会では活動の成果の欄にも記述した通り、三者が楽しめる場を作れたと感じている。しかし、世代が異なることで各世代で興味があることや好きな物の傾向が異なっている。どの世</p>

	<p>代も楽しめるような内容を考えることは難しい。そのため目安箱の設置により住民さんからの声を聞くとともに、町内会や子ども会と連携して話し合いを行い、目標が実現できるよう努力していきたい。</p> <p>また、荒井東の活動や石巻のぞみ野地区での活動のように、たなぼた単独の活動だけでなく他のボランティアサークルと合同で行う企画なども今後増やしていき、他の団体とも刺激あってより良い活動ができればよいと考えている。</p>
--	--

2. 助成金使途報告書

(1) 収入の部 (助成の対象となった事業の分のみ)

確保した資金内容	金額 (円)	備考
みやぎスマイル基金	300,000	
合計	300,000	

(2) 支出の部 (助成の対象となった事業の分のみ)

費目	内容	予算額	実支出額	助成金からの支出額	領収書 No
交通費 (地下鉄)	仙台市営地下鉄使用時の交通費	100,000	26,700	26,700	別途記載
交通費 (高速バス)	宮城交通高速バスイオンモール石巻前～仙台駅前間の交通費	160,000	28,900	28,900	別途記載
交通費 (JR)	JR仙台駅～石巻あゆみ野間の交通費	0	36,960	36,960	別途記載

消耗品費	工作の材料代	40,000	40,070	40,070	別途記載
玩具、スポーツ用品費		0	15,191	15,191	別途記載
印刷・通信費		0	8,134	8,134	別途記載
返金	スマイル基金の内 使用しなかった返却分			144,045	
合計		300,000		300,000	

* 用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

* 収入の合計と支出の合計が一致していることをご確認ください。

大学生と一緒にしおりを作って
読書の秋を楽しみましょう！

しおり作り

2022年 10月 29日(土)

参加費
無料！

10:00～12:00

何歳でも
参加OK！

場所： 荒井東公営住宅集会所

参加にあたってのお願い

- ・事前申し込みは不要です（町内会に参加していない方も参加可能です）
- ・飲み物は各自持参してください
- ・体調のすぐれない方は参加をお控えください
- ・マスクの着用、アルコール除菌への協力をお願いします
- ・感染症対策は行っておりますが、万が一体調が悪くなった場合は下記の連絡先にご連絡をお願いします

主催

東北大学ボランティアサークルSCRUM・たなぼた

(協力) 荒井東町内会、東北大学課外・ボランティア支援センター、
みやぎ連携復興センター
(連絡先) 080-5352-4700 【東北大学 松原】

参加費無料！

クリスマス会

大学生と一緒に
冬の思い出を
作りましょう～

2022年12月18日(日)

場所： 荒井東市営住宅集会所

【第一部】 10:00～12:00

クリスマス飾り&スノーボールづくり

【第二部】 14:00～16:00

ゲーム大会 (クイズ、ビンゴなど)

参加にあたってのお願い

- ・事前申し込みは不要です（町内会に参加していないお子さんも参加可能です）
- ・飲み物は各自持参してください
- ・体調のすぐれない方は参加をお控えください
- ・マスクの着用、アルコール除菌への協力をお願いします
- ・感染症対策は行っておりますが、万が一体調が悪くなった場合は下記の連絡先にご連絡をお願いします

主催

荒井東町内会

共催： 東北大学ボランティアサークルたなぼた、東北大学SCRUM、東北大学課外・ボランティア活動支援センター、みやぎ連携復興センター
(連絡先) 080-52-4700 (東北大学 松原)



小さいお子さん
も参加してくれ
た芳香剤作り



七夕飾り作り
のお手伝い



石巻あゆみ野での活動



ハロウィンやクリスマス、ひな祭りなどの季節
の工作や脳トレクイズなどを行いました！

